



新型コロナと共存する 社会を考える

新型コロナウイルスにより私たちの社会、経済、生活は大きな被害を被りました。移動の制限や人との接触の自粛、在宅勤務や遠隔授業の普及など、社会活動や生活様式の変化が強く求められ、また医療体制についても抜本的な見直しが迫られました。

本シンポジウムでは新型コロナウイルスについての最新の学術的知見を共有し、医療・経済への影響と本学の取り組みを概観した上で、人々が安心して豊かな生活をおくれるように、今後の社会の仕組み、或いは人と人の関わり方、助け合いなど人と文化がどのように変わっていくかを議論します。

開会の挨拶

武田 廣 (神戸大学長)

パネルディスカッション

杉村 和朗 (神戸大学理事)
 齋藤 政彦 (神戸大学副学長)
 服部 泰宏 (神戸大学経営学研究科准教授)
 奥村 弘 (神戸大学人文学研究科長)
 谷口 真澄 (神戸市企画調整局長)

講演

杉村 和朗 (神戸大学理事)
 小川 真人 (神戸大学理事)
 服部 泰宏 (神戸大学経営学研究科准教授)

閉会の挨拶

水谷 文俊 (神戸大学理事)

7.2 木

15:30 ~ 18:00

Zoom



(事前登録：200名) 申し込みは下記
<https://forms.gle/CtAJAkiX6mA4hJgM9>



【開会の挨拶】



武田 廣

神戸大学長

【講演 1】 (15:35-16:00)

医療の最前線からみた新型コロナウイルス感染症の特徴と医療態勢維持の努力、感染防止と両立する社会活動のあり方など。

杉村和朗 (すぎむら・かずろう)

神戸大学理事・副学長
(病院・学生・危機管理担当)
医学部附属病院長を経て、2015年4月
から現職。専門は放射線医学。

【講演 2】 (16:00-16:25)

新型コロナウイルス感染症流行による企業経営への影響や従業員の受けているストレス、テレワークの状況などを実証的調査から報告。

服部泰宏 (はっとり・やすひろ)

神戸大学経営学研究科准教授
滋賀・横浜国立両大学准教授を経て、20
18年4月から現職。専門は人的資源管理、
経営管理。「採用学」について積極的に研
究、情報発信を続けている。

【講演 3】 (16:25-16:40)

神戸大学が取り組む約50
テーマの新型コロナウイルス
感染症対策研究の概要と
知の拠点としての本学の使
命など。

小川真人 (おがわ・まつと)

神戸大学理事・副学長
(研究・環境・情報管理担当)
工学研究科長を経て、2015年4月
から現職。
専門は半導体ナノエレクトロニクス。



杉村 和朗

神戸大学 理事



服部 泰宏

神戸大学経営学研究科
准教授



小川 真人

神戸大学 理事

【パネルディスカッション】 (16:45-17:55)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、我々の社会・経済の多方面に甚大な影響を与えています。今後、感染拡大の防止に最大限配慮しつつ、経済・社会活動との両立を図る事が課題となっています。このパネルディスカッションでは、基調講演の医療現場、企業・個人への影響等についての現状報告を踏まえ、医学、経済、技術、文化、行政など多角的視点から新型コロナと共存する社会を考えたいと思います。

パネリスト：齋藤政彦（神戸大学副学長）（司会）、杉村和朗（神戸大学理事）、服部泰宏（神戸大学経営学研究科准教授）、奥村弘（神戸大学人文学研究科長）、谷口真澄（神戸市企画調整局長）



齋藤 政彦

神戸大学 副学長



杉村 和朗

神戸大学 理事



服部 泰宏

神戸大学経営学研究科
准教授



奥村 弘

神戸大学人文学研究科長



谷口 真澄

神戸市企画調整局長

【閉会の挨拶】



水谷 文俊

神戸大学 理事